

M炭マットの水害試験

マットの耐久性について調べました。

中身の木炭については、50年以上の耐久性が認められているが、不織布の耐久性については、素材によりかなり差が出ます。



水害にあい水が出る状態



天日に干し乾いた状態

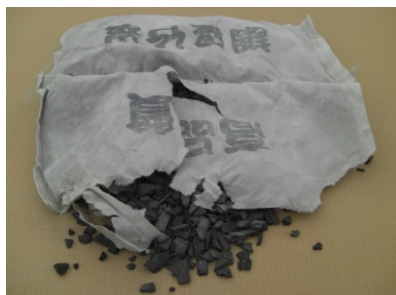
M炭マットは水害にあい、水に1週間ついていたもので床下に敷いて10年以上たっています。



床下に4年入れた竹炭マット



水に着いても、天日に半日干したら元に戻りました。



床下より持ち上げたら中身が出た



3年経過した木炭マット



紫外線により触るだけで破れた

マットの耐久性について、調べました。木炭マットの中身の木炭については耐久性が、法隆寺等の実績により示されおられます。備長炭等高温で焼かれた木炭の耐久性は高いが低い温度で焼かれた炭は、水に着くと泥状になります。M炭の中身Mカルと高温炭の耐久性は、30年以上あります。水害にあっても袋が破れる等の被害が無く天日に干せば、再度使用できました。不織布は25年以上の耐久性があります。竹炭は床下から4年目に出したところ、掴んだところが破れた。木炭マットは、部屋に置いた状態でも紫外線で破れました。不織布のエンボス生地は耐久性が低いようです。